

【プレスリリース】

**東日本大震災被災地出身の学生 5 名 震災の教訓を提言に
アジア防災閣僚級会合（タイ・バンコク）にて発信**

2015 年 3 月仙台での国連防災世界会議をにらみ、被災地からの生の発信

2014 年 6 月 17 日

2014 年 6 月 22 日（日）～26 日（木）に、タイ・バンコクにて「アジア防災閣僚級会合」が開催されることを受け、一般財団法人教育支援グローバル基金（東京・渋谷）は、東北被災地の若者を対象としたリーダーシップ育成事業「ビヨンドトゥモロー」の一環として、東北被災地の学生を会合に派遣し、震災の教訓からの提言を発表する機会を提供します。

提言を会議にて発表するのは、被災した東北地方出身で、震災で家族を亡くし、家や学校等が被災した経験を持つ 5 人の学生たちです。これまで「ビヨンドトゥモロー」の活動を通じて、数十名の学生たちが、東日本大震災での自らの被災体験を基に防災教育に関する提言を作成し、政策や防災教育の専門家との対話を通じて内容を深めてきました。今回、その中から選ばれた 5 名がタイ・バンコクを訪問し、アジア防災閣僚級会合にて、自らが考える防災のあり方について提言を発表します。

本会合で発表する提言は、2015 年 3 月に仙台で開催される国連防災世界会議に向けた活動につなげていく計画です。

【参加学生一覧】

菅原彩加（ロバート・アラン・フェルドマン特別奨学生）

Leysin American School 2014 年 6 月卒業



石巻市にて被災。津波によって母、祖母、曾祖母を失う。震災から半年後、中国にて開催された夏季ダボス会議に参加し、世界のリーダーに向けて自身の経験を伝えた。震災から 1 年後の 2012 年 4 月から、ビヨンドトゥモロー高校留学プログラムでスイスのインターナショナルスクールに留学し、2014 年 6 月卒業。今回のアジア防災閣僚級会合においては、地震が頻繁に発生するアジアに住む一人として、そしてこれからの未来を作っていく 10 代の代表として、防災について自ら真剣に学ぶと共に、東日本大震災で被災した経験を基に、アジア各国の人々に「防災の重要性」を伝えたいと考えている。

藤田真平

神奈川大学法学部（神奈川県立岸根高等学校卒業）



宮城県気仙沼で被災し、家を失ったため、神奈川県に避難、家族と離れて神奈川県で高校に通った。13 年間続けてきた水泳が心の支え。震災後 9 月には、山口県で行われた国民体育大会で宮城県代表として出場し自己新記録で 12 位。2013 年には全日本学生選手権で決勝に進出。将来東北を担うリーダーになれるように成長していきたいと考え、将来は復興のために地元・気仙沼に帰り、若者が出て行くのを減らせるような会社を同じ志を持つ仲間と共に立ち上げることが夢。今回の会合では、アジア各国の防災や災害の継承のありかたについて学び、故郷に還元したいと意欲を見せる。

西城国琳

拓殖大学国際学部（宮城県気仙沼高等学校卒業）



中国・大連生まれ。中学校 1 年生の時に、宮城県・南三陸町に転居。震災で家を失うという体験を通じて、「教育」「情報」の大切さを知り、アフリカの貧困地域で教育を普及させ、より多くの子どもたちが夢を実現できる社会作りをしたいと考えている。今回の会合参加により、アジアの若者たちが連携し、今後の災害にむけて共に行動するきっかけを作れるのではないかと考えている。

菅野英那 (TOMODACHI特別奨学生)



早稲田大学商学部 (福島県立須賀川桐陽高等学校卒業)

震災でまわりの家が流されるという経験に衝撃を受ける。その中で自分が生きていることには意味があると感じ、インターネットを通じて現実の世界に大きな影響を与えるサービスを作りたいと、以前から関心のあった IT 分野で起業することを決意。今回のアジア防災閣僚級会合への参加を通じて、日本とは異なる災害の捉え方を学び、また、東北出身者として自分が考える防災のあり方がどのように他国の人にも共感してもらえるのかについて理解を深める機会としたいと考えている。

穀田龍二 (TOMODACHI 特別奨学生)



東北大学法学部 (宮城県気仙沼高等学校卒業)

震災後、地元気仙沼で徐々に地域復興へ気運が高まり、単独で克服できないことを集団で実現することができるということを目の当たりにし、復興には被災地内での協力が不可欠だと考えるようになる。若者の地元離れが復興の妨げになるという問題意識から、故郷である気仙沼で漁業分野で会社を興し、漁業を若者が憧れる職業にするのが夢。今回のバンコク訪問においては、防災教育が進んでいるといわれている日本で、今回の震災においてはどんな課題が発見されたのか、そしてその課題に対して今後どのように取り組むべきかを、震災を体験した若者の視点から世界の方々に紹介したい。

【会合中の活動の予定】 (※変更になる場合があります)

6月21日 (土)	オリエンテーション・会議についてのガイダンス
6月22日 (日)	プレ会合ワークショップ ・他国の若者参加者との交流 ・各国の災害リスク管理への取り組みについてのディスカッション ・会合の成果にむけた意見交換
6月23日 (月)	翌日にむけたリハーサル
6月24日 (火)	アジア防災閣僚級会合「子供・若者フォーラム」参加 ・オープンフォーラム ・政府関係者との対話 ・共同声明の発表

【ご取材について】

本プログラムのご取材にご関心のある方は、下記連絡先までご連絡下さい。本プログラム参加学生へのご取材 (バンコク現地および東京にて) や、今後の取り組みについてのご取材についてもご相談頂けます。

担当：山岡

電話：080-7716-4884

Eメール：info@beyond-tomorrow.org

★ビヨンドトゥモローとは★

「ビヨンドトゥモロー」は、東日本大震災で被災した若者がグローバルに活躍するリーダーへの成長を支援することを目的とした事業として、包括的なリーダーシップ支援事業を実施しています。志ある学生の夢の実現を応援し、金銭的な支援だけでなく対話を通して大志の実現を助け、グローバルな視野を持つ人材を育成します。また、今回の逆境を乗り越えて、自らがより主体的に社会に関わるような機会を提供することにより、他者に対する共感力をもつ人材の育成を目指します。